

かえる便り 29年度35号

平成30年3月1日

早春の候、皆様にはご健勝にてお過ごしのことと存じます。

師は道を伝え 業を授け 惑いを解く所以なり 人生の迷いを解決するための道理（正しい道）や学問を伝授してもらいましたか？ 高校の卒業は終わりではなく出発点ですよ!! 学んだことを活かせるよう努力してほしいと思います。

平昌オリンピックの女子スケートのパシュートに感銘しました。時速 50 kmで滑るため凄い風圧がかかりますが、隊列が整えば後方の選手は 50%減圧できるそうです。この時の風圧は“風に向かって歩きにくくなり、傘がさせない”状態だそうです。オランダの選手は全員がトップ 10 に入っていますが、日本は高木美帆選手だけです。この差を埋めるために、先頭交代の速さ 高速状態で接触しない約 1m の距離 きれいな隊列をとるために凄く練習したと感じられるからです。

サッカーで状況判断が悪い選手は、タイミングやコース取りを自分だけの考えで行うためチャンスを逸することが多々あります。刻々と変化する状況の中で、“今何をすべきか”を考え皆で連動することができるよう鍛えていきたいと思います。



自分のために行ったことが、社会に貢献するから高い評価が得られます。K君は自分の好きな事を土日に行っています。彼を拘束することをやめ、好きな道を歩ませたいと思うのですが……。しかし、彼は私たちの組織に大きく貢献してくれています。物事に対する心構えが“不偏”だからです。便利な人と思われそうですが、私には“賢人”に見えます!!

人の脳は“快”か“不快”か、“好き”か“嫌いか”と感じるかで働きが違ってくるのだそうですよ!! “ワクワクしながら働く人”、“与えられたことを仕方なしにやる人”、“それさえしない人”がいます。さて成功する人の脳はどれでしょうか？ 世の中、全てのことが 自分の好きなこと であれば、誰も成功するのでしょうか？ けれどそうではありませんね。与えられたことが自分のしたいことであれば、進んでやる光景はよく見ます。しかし、嫌なことであれば態度が変わる人がよくいます。成功するかどうかの“カギ”は、嫌なことをする際の心構えだと思いませんか？ 真に成功する人は、嫌なことであっても前向きな心構えの持ち主です。

3年生卒業おめでとう。“爽快”な気分でも物事に取り組み、“壮快”な人生を送って下さい!! 3年生保護者の皆様、今までご支援していただきありがとうございます。心より感謝申し上げます。彼らの成長と成功を願っております。顔晴れ!!